

高岡市立博労小学校 学校だより



ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>

2025年 へび年

校長 森田 芳栄

穏やかに3学期を迎えることができました。本年もよろしくお願いいたします。

### ＜第3学期始業式あいさつより＞

今年、へび年です。へび（巳）には「新しく生まれる」「将来・未来がある」「家族平和」などという意味があり、縁起のいい動物のようです。

へびのように外側に硬い皮を持つ生き物は、そのままでは成長できません。だから、へびは、1年で3、4回脱皮をします。成長して大きくなるために、体の表面を守っている古い皮を脱ぎ捨て、新しい皮でできた体に生まれ変わります。脱皮をするときは苦しいし、その間に他の動物に襲われて死ぬ危険もあるそうですが、脱皮をし続けなければ生きてはいけません。

私たち人間にも似たようなことが言えます。私たちも、努力を重ねて硬い殻を作ります。それは自信だったり自分の強さだったりするので、それがなかったら、少しのことでくじけてしまう弱い人間になってしまいます。しかし、いつまでもその硬い殻で満足して閉じこもっていると、さらに大きく成長することはできません。たくさんのをがんばって自信をつけたら、そろそろまた新しい皮に生まれ変わって、また丈夫で強い皮をつくっていくのです。それが「チャレンジをする」ということです。勇気をもってチャレンジをし続け、さらに成長、進化を遂げる一年にしてほしいなあと思います。

さて、3学期が始まりました。3学期は、何日学校に来るでしょうか。6年生は46日、1～5年生は50日です。短いですが、自分の成長を振り返り、次の学年でもっとがんばりたいことを見つける大切な学期です。

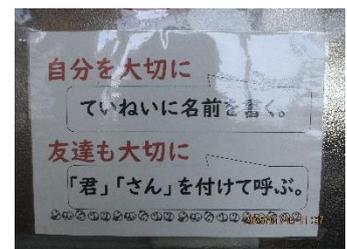
そこで、3学期、みなさんには、自分や友達を大切にしてお過ごししてほしいと思います。博労っ子全員でできたらいいなと思うことを二つ言います。一つ目は、自分を大切にする気持ちを、名前を書くときに表しましょう。プリントやテストには、丁寧に自分の名前を書いてください。自分の行動に責任をもつということにもつながります。二つ目は、友達を大切にする気持ちを、名前を呼ぶときに表しましょう。さんや君、ちゃんをつけて思いやりの心を表しましょう。

小さなことですが、みんながきちんと続ければ、きっとお互いのよさを認め合える素敵な学校になると思います。

**「自分の名前を丁寧に書く」**

**「友達の名前をさん、君、ちゃんづけで呼ぶ」**

この二つをしっかりとできるようにしましょう。



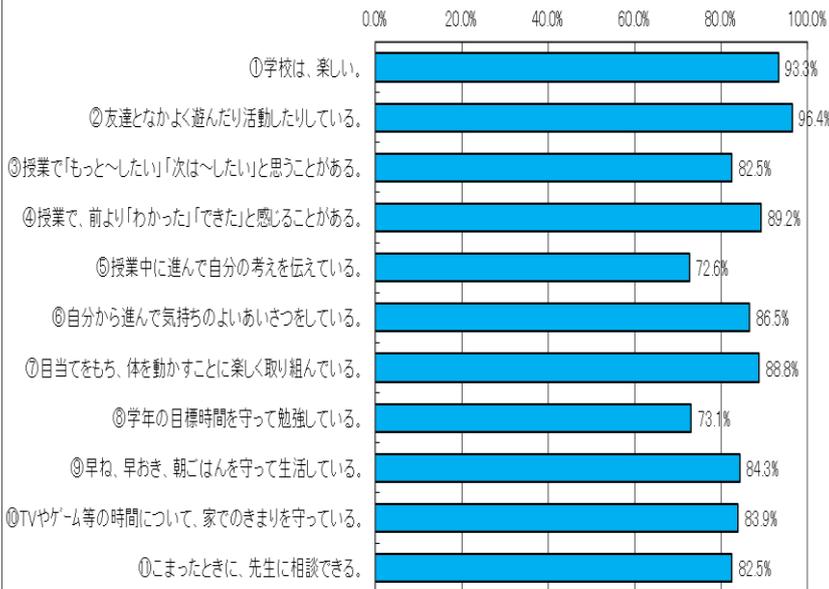
◆6の1入口の掲示◆  
率先して実行する6年生です！

## ～ 2 学期の学校評価の結果について～

教頭 岩崎 泰明

学校運営や教育活動等を改善し、より充実した学校にしていくために、2学期末に児童アンケート、保護者アンケートを実施しました。これらの評価結果についてお知らせいたします。

児童アンケート 「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和6年12月)

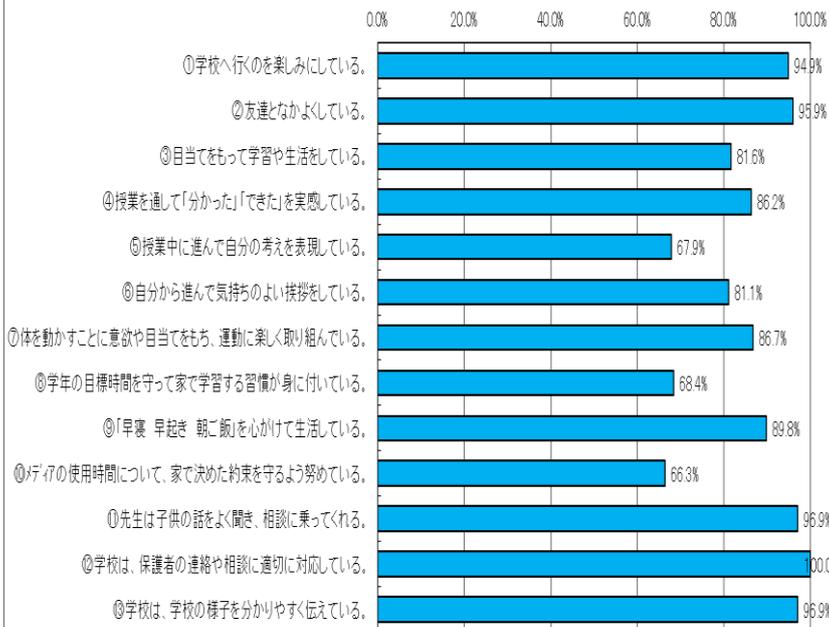


### ★児童アンケートから★

今学期も全体的に8割以上の高評価の項目が多くみられました。特に「①学校は楽しい」「②友達となかよく」等の結果から、児童は有意義な学校生活を送っていることがうかがえます。また、「⑦目当てをもち、体を動かすことに楽しく取り組んでいる」児童がさらに増え、元気な体作りに取り組んでいます。一方でアクションプランとして掲げている「⑤進んで自分の考えを表現する」に関しては1学期より3ポイント減少しています。主体性が発揮できる教育環境を大切に、互いの考えを表現し合えるような授業づくりに引き続き取り組んでまいります。

「⑧学年の目標時間を守って勉強している」や「⑨早寝、早起き、朝ご飯」については1学期より6ポイント下回っていることから、時間の使い方についても考える必要があると思われまます。

保護者アンケート 「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和6年12月)



### ★保護者アンケートから★

児童と同様に今回も、「①学校は楽しい」「②友達となかよく」で高評価をいただきました。また、学校の児童・保護者への対応等に関する⑪～⑬の項目で、いずれも95%を超える評価をいただきました。この結果に甘んじることなく、保護者の皆様との良好な信頼関係を構築できるよう、引き続き努力していきたく思います。

一方、これまでと同様に⑤⑧⑩の項目で肯定的評価が低く、特に⑩では児童の評価との乖離が見られます。授業に取り組む姿勢や家庭学習の在り方、メディアとの付き合い方に関して、学校と保護者が情報交換をしながら望ましい生活習慣を確立できるよう努めてまいります。

これからも、児童一人一人の実態を把握し、支援に努めるとともに、博労っ子の頑張りや成長の様子を各種たより、ホームページ等を通して、随時発信していきますので、よろしくお願ひいたします。